

日別の需要想定・需給状況・再エネ出力抑制の必要性①

(単位: 万kW)

場所		北海道エリア 前日計画		北海道エリア 当日計画		北海道エリア 前日計画		北海道エリア 当日計画		
出力抑制指令計画時の下げ調整力最小時刻		10月8日(日) 10:30~11:00		10月8日(日) 10:30~11:00		10月13日(金) 9:30~10:00		10月13日(金) 9:30~10:00		
		【需要想定】	【基準】	【需要想定】	【基準】	【需要想定】	【基準】	【需要想定】	【基準】	
需要想定	年月日(曜日)	2023.10.8(日)	2022.10.9(日)	2023.10.8(日)	2022.10.9(日)	2023.10.13(金)	2022.10.14(金)	2023.10.13(金)	2022.10.14(金)	
	札幌 地点	気温(°C)	15.4	15.3	15.0	15.3	18.9	14.7	17.7	14.7
		湿度(%)	53.0	47.0	51.0	47.0	57.0	61.0	58.0	61.0
		30分積算日射量(kW/m ²)	0.621	0.661	0.625	0.661	0.529	0.517	0.520	0.517
		30分降雪量(cm)	0	0	0	0	0	0	0	0
	相関 係数	A	予測対象日の直近数十日と、過年度同時期の数十日の気象予測地点毎の各パラメータに対して相関係数を作成し、重回帰法にて需要を想定(参照データ数は、参照期間と説明変数の組み合わせで1000以上)							
		B	予測対象日の直近数十日と、過年度同時期の数十日の気象予測地点毎の各パラメータに対して相関係数を作成し、重回帰法にて需要を想定(参照データ数は、参照期間と説明変数の組み合わせで1000以上)							
		C	予測対象日の直近数十日と、過年度同時期の数十日の気象予測地点毎の各パラメータに対して相関係数を作成し、重回帰法にて需要を想定(参照データ数は、参照期間と説明変数の組み合わせで1000以上)							
		D	予測対象日の直近数十日と、過年度同時期の数十日の気象予測地点毎の各パラメータに対して相関係数を作成し、重回帰法にて需要を想定(参照データ数は、参照期間と説明変数の組み合わせで1000以上)							
	需要 (万kW)	過去の需要実績		257.6		257.6		325.8		325.8
	需要想定値①	275.6		273.6		336.4		331.4		
	【出力想定】									
太陽光の 出力想定	日射量予測値(MJ/m ²)	0.29 ~ 2.02		1.51 ~ 3.13		1.66~2.05		0.18~3.10		
	出力想定値(※1) (万kW)	特高②	60.2	61.2	59.2	64.5				
		高圧③	58.7	60.4	54.8	57.9				
		低圧④	40.5	42.3	38.7	40.4				
合計⑤	②+③+④	159.4	163.9	152.7	162.8					
風力の 出力想定	風速予測値(m/s)	2.4 ~ 12.1		1.4 ~ 6.5		0.6~8.7		1.4~11.8		
	出力想定値 (万kW)	特高⑥	5.6	10.4	20.2	30.7				
		高圧⑦	0.5	0.7	0.6	0.9				
		低圧⑧	0.2	0.4	0.3	0.6				
合計⑨	⑥+⑦+⑧	6.3	11.5	21.1	32.2					
	【前日計画】									
需給状況 (万kW)	エリア 供給力	(F) 電源Ⅰ・Ⅱ(火力)	51.0	51.0	72.7	72.8				
		(G) 電源Ⅲ(火力)	21.8	23.5	27.7	34.0				
		(L) 原子力	0.0	0.0	0.0	0.0				
		(J) 一般水力	32.0	30.6	30.1	31.9				
		(K) 地熱	1.8	1.8	1.8	1.6				
		(H) バイオマス専焼電源	13.3	13.3	20.0	16.9				
		(I) 地域資源バイオマス	7.3	7.3	7.5	7.5				
		(E-1) 太陽光⑤	159.4	163.9	152.7	162.8				
		(E-2) 風力⑨	6.3	11.5	21.1	32.2				
		(E-2) 想定誤差量	17.2	12.2	17.4	12.8				
	エリア供給力計⑩	310.1	315.2	351.0	372.5					
	エリア 需要等	(A) エリア需要(本土)①	275.6	273.6	336.4	331.4				
		揚水								
(C-1) 揚水式発電機の揚水運転⑪		▲ 34.0	▲ 34.0	▲ 20.0	▲ 20.0					
(C-2) 電力貯蔵装置の充電⑫		▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.6					
域外										
(B-1) 約定済みの域外送電電力⑬	▲ 0.4	7.4	▲ 11.5	▲ 5.2						
(B-2) 長周期広域周波数調整⑭	0.0	0.0	0.0	0.0						
エリア需要等計⑮ = ① - (⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭)	311.6	301.8	369.5	358.2						
	【前日計画】									
必要性 (万kW)	エリア供給力計⑩	310.1	315.2	351.0	372.5					
	エリア需要等計⑮	311.6	301.8	369.5	358.2					
	判定	x	○	x	○					
イメージ図は 「別紙3」	(D),(d) 誤差量を織込んだ抑制必要量⑯ = (⑮ - ⑩)	▲ 1.5	13.3	▲ 18.5	14.4					

日別の優先給電ルールに基づく抑制、調整状況①

(※)差異理由

(a) 作業制約による停止不可
(b) 燃料貯蔵の関係から抑制量減少
(c) 燃料貯蔵の関係から抑制量増加

(d) 試運転試験パターンに基づく抑制量減少
(e) 試運転試験パターンに基づく抑制量増加
(f) 自家発電設備など工場の生産調整に基づく計画

(g) オーバーホールで停止中
(h) 翌日発電計画に基づいた発電出力を採用
(i) 他の供給区域の受電可能量不足

(j) 系統作業による停止
(k) 高見・新冠4台目揚水運転不可(同期安定度)
(l) 作業(ばい煙測定等)による抑制量減少

(m) 設備点検で停止
(n) 東北東部間連系線の空容量不足
(o) 作業制約に伴う容量減

(p) 降雨による出水増加のため
(q) 当日指示では対応できないため
(r) 下げ調整力確保により対応不要

(s) 夜間の供給力確保に伴う出力帯切替のため
(t) 他連系線の空容量または他エリア受電可能量不足のため

Table with multiple sections: 優先給電ルールに基づく抑制、調整 (1) through (7), and 想定誤差量. Each section contains columns for dates (10月8日, 10月13日) and various metrics like power output, capacity, and reasons for adjustments.

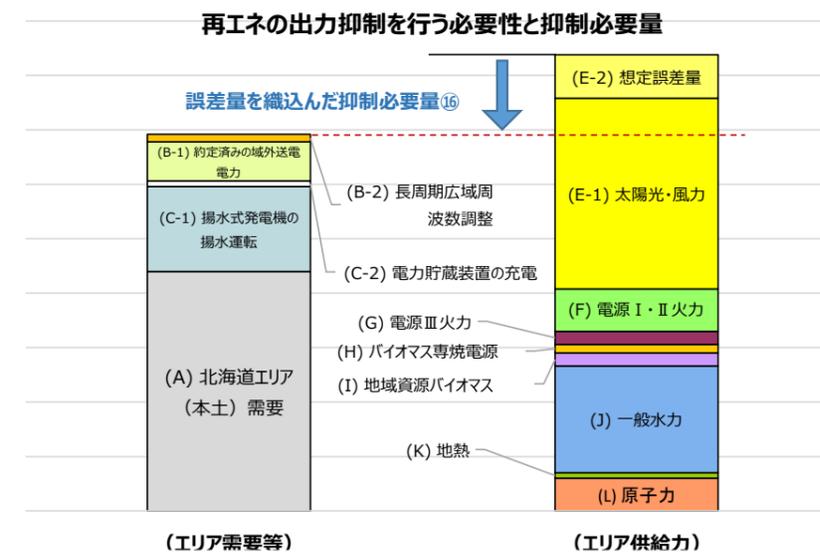
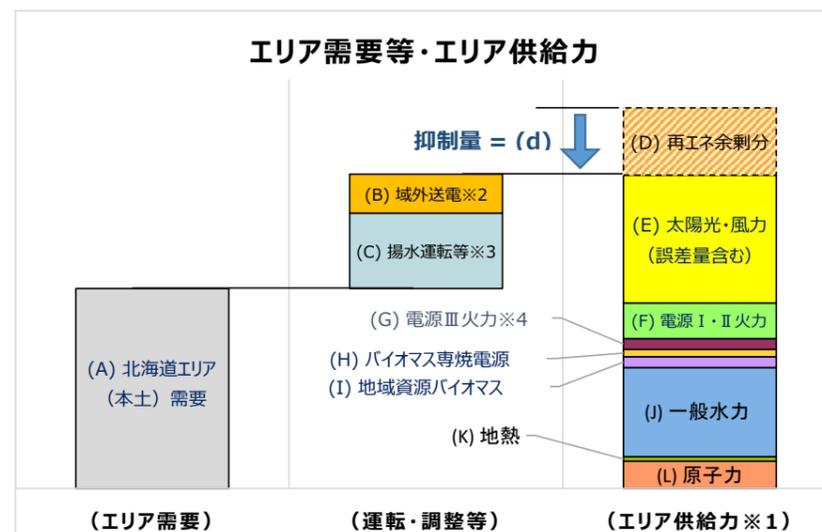
(参考) 当日の需給実績

(単位: 万kW)

場所		北海道エリア	北海道エリア	
		10月8日(日) 10時30分~11時00分	10月13日(金) 9時30分~10時00分	
天候・気温	天候	晴れ	快晴	
	気温 (°C)	15.4	19.0	
(参考) 当日の需給実績	(A) エリア需要 (本土)	262.8	331.8	
	エリア供給力	(F) 電源Ⅰ・Ⅱ (火力)	60.0	72.4
		(G) 電源Ⅲ (火力)	24.7	26.0
		(L) 原子力	0.0	0.0
		(J) 一般水力	33.9	31.6
		(K) 地熱	1.4	1.6
		(H) バイオマス専焼電源	13.2	19.8
		(I) 地域資源バイオマス	7.3	7.5
		(E) 太陽光 (抑制量含む) 風力 (抑制量含む)	178.6 2.6	174.8 32.2
	エリア供給力計	321.7	365.9	
	揚水運転等 (C) 揚水式発電機の揚水運転・電力貯蔵装置の充電	▲ 24.8	▲ 17.6	
域外送電 (B) 約定済みの域外送電電力・長周期広域周波数調整	▲ 22.2	▲ 3.9		
抑制 (D) 太陽光・風力抑制	▲ 11.9	▲ 12.6		
供給力計	262.8	331.8		

○需給状況 (別紙 1) ・当日の需給実績 (別紙 3) のイメージ図

○必要性 (別紙 1) のイメージ図



- ※ 1 : 優先給電ルールに基づく出力抑制後のエリア供給力。
- ※ 2 : 北海道本州間連系設備の運用容量相当。
- ※ 3 : 電力貯蔵装置の充電を含む。 ※ 4 : バイオマス混焼電源を含む。